

メタバース東根市温泉町について 3分動画解説

義高 互

本作は東根市に実在する名所旧跡をバーチャル世界として再現し全てのOSや機器で活用できるようにしたものです。(静止画比較 足湯か火渡り)

そして地域住民で運営する公認サイトに組み込むことで活用可能にしました。子供もお年寄りも自由に無償で使うことができるようにしたものです。

この東根市温泉町は製作者の居住地であり、今も地域役員を務めている場所でもあります。

その東根温泉のシンボリックな「東根温泉足湯 夏祭り」で行われる「火渡り」地域の桜名所である「堂ノ前公園」東根市のシンボル「大ケヤキの歴史」をバーチャル体験できる仮想空間がこの「メタバース東根市温泉町」です。(三世域の比較)

温泉町は温泉が湧いて人が集まってきた地域です。東根温泉足湯の場面から温泉を盛りあてる温泉町起原を出来事を仮想体験することができます。(温泉発掘場面)

夏の風物詩「さくらんぼ東根温泉祭り」は7月に開催されます。その夜に祭りを司る成田山には山伏の方々も集まり、健康祈願の火渡りをします。その火渡りもバーチャル世界で仮想体験することができます。(火渡りの場面) 温泉町の近くには堂ノ前公園があり、春には桜が咲き誇る桜の名所でもあります。その公園の花見を仮想体験することができます。

(花見場面) 温泉町が学区でもある東根小学校には天然記念物に指定されている大ケヤキがあります。江戸時代までは東根城という城廓がありました。その東根城と大ケヤキの歴史を仮想体験することができます。(東根城場面)

それぞれ地域の史跡名所をバーチャル世界に再現した本作です。(静止画)

このコンテンツ作成に当たって地域の皆さんと話し合ってきたことがあります。それは「地域の持つ古いものと新しいものを融合しよう」という事です。(古い歴史や名所と新しい物を融合)

まず住民の要望を取り込むために昔ながらの隣組回覧板を使いました。

(古の隣組回覧板とデジタル掲示板を融合して住民の意見集約)

地域の皆さんに隣組回覧板で知らせて、サイト掲示板を使って意見を集約しました。古くからの隣組回覧板の確かな回覧力と、新しいサイト掲示板の集約力を融合させた結果、住民からの要望を反映することができました。(回覧文書)

そして地域行事(夏祭り)の火渡り式や東根温泉にある足湯 桜の名所の堂ノ前公園を、新しい技術であるバーチャルやメタバースの技術と融合させました。(名所や古い行事と新しい技術を融合) 自宅において火祭りの仮想体験や地域の名所で花見が仮想体験できるようになりました。また地域の小学校にある大ケヤキについても歴史を仮想体験できる機能を付加しました。(地域の歴史・文化を仮想体験) 地域の歴史を仮想体験することができます。

また本作を活用する人についても融合を考えました。本作は私が教員である事もあり、学校の学習教材として活用されています。(次世代にも年配の方にも活用可能な融合の形) 利用する人についても新旧ともに使えることを考えました。東根温泉町にはゆうゆうクラブという老人クラブがあります。

その老人クラブの会合でも花見の仮想体験などを楽しんでいただきました。(ゆうゆうクラブ動画)